

2003年11月7日 工経ゼミ(学部)

卒論に向けての研究調査計画第一次構想について

テーマ：産業・企業に関するものであれば、自由

- ・製造業でなくともよい。経営戦略、人事管理、労働経済なども可。
- ・財政や金融は、相談には応じるが、指導できないかもしれない。
- ・来年初めまでは、テーマ変更可。

研究組織

- ・企画書と論文は個人単位で書く。テーマや目的が同じで、事例が異なる場合は共通企画書に分担を明記してもよい。
- ・研究チームは複数で作り、共通の調査対象にアクセスしてもよい。

スタイル

- ・何らかの実態調査を含めることを勧める。
- ・史料を用いた歴史的研究は可。
- ・以下のどちらかの条件を満たせば文献研究でもよい。
通常用いられる単行本・雑誌以外の一次資料に近いものを用いる。
理論的考察を行う。

調査研究企画書の作成

- ・研究テーマ(題目)
- ・研究目的
- ・研究の背景(情勢の展開、研究や世論の動向、それらに対する問題意識)
- ・調査事項
- ・調査対象または使用資料
- ・調査方法または資料へのアクセス・読解方法
- ・研究スケジュール
- ・予備的考察
- ・パワーポイントで発表する

予備的考察

- ・関連する単行書か論文1本以上を読み、それに対して、自分の研究を進める観点から書評を行う。短文(『エコノミスト』などに2-4ページ載るもの)は不可。雑誌のカバーストーリー全体なら可。

報告

- ・工場見学終了後のゼミで報告する。
- ・改訂して来年の初めに報告する。本格的な調査は春休み以後と予想できる。

相談

11月に1人1回ずつ相談する。